

社会福祉法人 中部盲導犬協会

平成 29 年度 事業報告書

〔概 要〕

「中部盲導犬協会の発展と永続のために……」を目標に事業展開するとともに、新規事業として犬と一緒に、入居出来る特別養護老人ホームの建設に着手した。

盲導犬育成事業部

〔基本事業〕

1. 盲導犬の育成強化 ……別紙 1

育成プログラムの見直し、訓練士等の技術向上を目指す。

愛知県、連合会等の助成により、盲導犬 6 頭を育成貸与した。

2. 飼育費の支給

月額 4,800 円を上限として当協会から貸与している愛知県、名古屋市内の盲導犬使用者に対し補助した。

3. 盲導犬訓練士等の養成

新たに、2 名が盲導犬訓練士資格を取得した。

4. 盲導犬に適する繁殖と子犬の作出の研究事業

諸外国と国内の盲導犬協会との相互協力により人工受精などによる繁殖の研究を行い盲導犬に適する仔犬の確立を図り、新たに IFT、BCL テストを実施するために、AGBN（アジア・ガイドドック・ブリーディング・ネットワーク）に出向参加した。（29 年度出向終了）

繁殖センターの運用を図り、優秀な子犬の育成に努めた。

5. 普及啓発事業 ……別紙 2

<目標>

- ① 視覚障害者および一般市民に対して、身体障害者補助犬である盲導犬の役

割を知らせた。

② 一般社団法人中部盲導犬協会支援センターと連携した。

1) 盲導犬のデモンストレーションの実施

視覚障害者団体等に盲導犬貸与についての説明や体験歩行などを実施し、盲導犬貸与の促進を図った。

2) チャリティー

盲導犬フェスティバル、チャリティーゴルフ大会等を実施した。
(立浪和義応援大使参加)

3) 見学会の開催

個人や団体に対し、盲導犬への正しい理解と接し方などを啓発した。

4) イベント参加

動物フェスティバルを、はじめ各種イベントに参加して、盲導犬の理解を深めると共に動物愛護についての啓発をした。

5) 講師派遣

小・中学校、高校などへ出向き、総合学習などの授業を通して盲導犬への理解を深めた。

6) 協会ホームページの活用

インターネットの内容の充実を図り、盲導犬に対する理解と支援の輪を広げる。

7) 機関紙「ニューハーネス」の発行

協会事業の周知と情報開示を図る。

6. 職員研修会の実施

全国盲導犬施設連合会の研修をはじめ障害者関連の施設や盲導犬訓練設など他協会にも派遣し職員の資質向上を図った。

また、日本身体障害者補助犬学会、東海点字研究会に参加した。

7. ボランティアの強化

高校生サマーボランティアや中学生ボランティア体験を受入れボランティアの裾野を広げた。

8. 運営基盤の強化安定

1) 盲導犬育成の支援団体の拡大

各法人、団体、組合、学校等からより多くのご支援が得られるよう努めた。

2) 会費会員について

法人・個人に盲導犬育成事業についての理解を深めた。

3) リサイクル活動の促進

- ・書き損じハガキの回収運動

書き損じハガキを回収して運営資金や通信費として活用した。

- ・アルミ缶回収運動

アルミ缶回収運動の輪を広げ、盲導犬育成に役立てた。

〔連携事業〕

1. 一般社団法人中部盲導犬支援センターとの連携強化

2. あけびの会との連携

盲導犬使用者と友の会の協力により、ハイキング・研修旅行・慰霊祭・研修会等を実施ユーザーとのコミュニケーションを図り、ユーザーの立場に視点をおいた事業の推進を図った。

3. 豊田東名ライオンズクラブ「中部盲導犬協会後援会」の協賛事業

豊田東名ライオンズクラブを中心とした後援会の協賛事業としての、盲導犬チャリティーゴルフ大会、球技大会での募金活動協力、パピーウォーカーへの子犬の委託などの支援に応えるため、この事業推進に努力した。

4. 全国盲導犬施設連合会との連帯

連合会が実施する事業に、参加協力した。

5. 愛知視覚障害者援護促進協議会との連携

視覚障害者援護講習会等に講師派遣するとともに共催講習会も実施した。

〔重点事業〕

1. 岐阜大学との連携

盲導犬の人工授精に関する研究を実施した。(凍結精液作成)

2. 交通安全指導

相次ぐ、視覚障害者のホーム転落等を考慮し、利用者について再歩行指導並びに最寄りの駅での安全な歩行指導を個別に実施した。

3. 財政基盤の安定

街頭普及活動を中部盲導犬支援センターと連携し、活動拠点・回数を増やした。
(名鉄百貨店前、イオンみなと・大高店、金山・栄・金城埠頭駅前・長島等)

福祉事業部

〔基本事業〕

- ・ 居宅介護等事業 ……別紙 3

訪問介護事業所サーブ(名古屋)

訪問事業所サフィー(静岡)

有資格の職員による専門性のある事業所作りに努めたが、静岡事業所については、責任者退職のため平成 29 年 12 月より休止状態である。

〔重点事業〕

1.法人の将来構想について

当協会の事業開始から 40 年以上が経過し、盲導犬利用者の高齢化や障害の重度化等により新たな支援が求められていることから、以下の事業を実施した。

- ・ 高齢化した際に盲導犬及び家族同様のペット犬と一緒に入居可能な特別養護老人ホームの建設着工。(新城市湯谷温泉地区・定員 100 名)
平成 30 年 1 月に、建設準備室に職員を 1 名採用した。

以上

盲導犬育成報告

頭数	パピー ウォーカー委託中	基本訓練	誘導訓練	訓練終了
1			→	キャリアチェンジ
2			→	愛知県貸与
3			→	繁殖犬
4			→	キャリアチェンジ
5			→	PR犬
6			→	愛知県貸与
7			→	愛知県貸与
8			→	訓練中
9			→	キャリアチェンジ
10			→	PR犬
11			→	キャリアチェンジ
12			→	愛知県貸与
13			→	訓練中
14			→	PR犬
15			→	キャリアチェンジ
16			→	愛知県貸与
17			→	キャリアチェンジ
18			→	キャリアチェンジ
19			→	訓練中
20			→	キャリアチェンジ
21			→	キャリアチェンジ
22			→	キャリアチェンジ
23			→	訓練中
24			→	訓練中
25			→	PR犬
26			→	愛知県貸与
27			→	訓練中

頭数	ハビ ウオーカー委託中	基本訓練	誘導訓練	訓練終了
28			→	キャリアチェンジ
29			→	キャリアチェンジ
30			→	キャリアチェンジ
31			→	キャリアチェンジ
32			→	訓練中
33			→	キャリアチェンジ
34			→	訓練中
35			→	訓練中
36			→	キャリアチェンジ
37			→	キャリアチェンジ
38			→	訓練中
39			→	キャリアチェンジ
40			→	キャリアチェンジ
41			→	訓練中
42			→	PR犬
43			→	繁殖犬
44			→	キャリアチェンジ
46			→	キャリアチェンジ
46			→	訓練中
47			→	訓練中
48			→	訓練中
49			→	訓練中
50			→	キャリアチェンジ
51		→		キャリアチェンジ
52		→		訓練中
53		→		訓練中
54		→		訓練中
55		→		訓練中

頭数	パピー ウォーカー委託中	基本訓練	誘導訓練	訓練終了
56		→		訓練中
57		→		訓練中
58		→		訓練中
59		→		訓練中
60		→		訓練中
現在保有犬		盲導犬	51頭	
		訓練犬	24頭	
		繁殖犬	25頭	
		PR犬	4頭	
		パピーウォーカー委託中	26頭	
合計			130頭	

繁 殖 事 業

1. 交 配

件 数 5 件

2. 出 産

件 数 5 件

産 子 数 33 頭（内、死産あるいは他協会への分配有り）

3. パピーウォーカー関連

委 託 26 家庭

しつけ教室 21 回開催

4. 繁殖犬の引退と導入

- ・繁殖雌犬 1 頭引退
- ・繁殖雄犬 2 頭を導入
- ・現在、繁殖雄犬 11 頭（内、AGBN 委託犬 2 頭）と繁殖雌犬 11 頭（内、AGBN 委託犬 2 頭）で合計 22 頭を所有

5. 凍結精液の作成(岐阜大学との連携)

7 月 2 頭分

8 月 2 頭分

3 月 2 頭分

普及啓発事業

事業名	内容 ・ 実施数
講師派遣	小・中学校、高校などへ出向き、盲導犬の授業を行う。(60～90分) 盲導犬への正しい理解と街中で出会った際の接し方などを啓発する。 啓発件数 67 件 講師料総額 ¥1,092,529
見学会	4階大ホールにて個人・団体に向けて実施。定員 100 名。 盲導犬への正しい理解と接し方などを啓発する。 約啓発人数 1,809 名 参加費総額 ¥373,600
イベント	各種イベントやお祭り、ショッピングモール等で、募金活動・チャリティーグッズ販売・デモンストレーション等を実施し、盲導犬の正しい理解を呼びかける。 108 件
※支援センターと連帯募金活動	街頭募金活動 (名鉄百貨店前、イオンみなと店、東山公園前、大須商店他) 715 回
友の会	*ボランティア育成 138 名 新規 43 名
会 員	特別会員 38 名(内、新規会員：3 名) 普通会员 335 名(内、新規 会員：53 名)
ボランティア養成	あけびの会・学生ボランティア講習会 生活支援連携 高校生夏期サマーボランティア受入 中学生ボランティア体験受入
自動販売機	新規設置：1 台 継続設置：43 台 計 44 台
学会・研修会	ジャパンセミナー
機関誌「ニューハーネス」	3,000 部 (墨字版) ×2 回 (4 月、10 月発行)、55 部 (音声ファイル版) ×2 回 (4 月、10 月発行)

居宅介護・移動支援事業

障害者総合支援法における障害福祉サービスの「介護給付」支給決定を受けた利用者宅にホームヘルパーが訪問し、介護や家事等の生活全般にわたる援助並びに外出時における指導中の介護を実施した。

名古屋地区

1. 事業所名

訪問介護事業所サーブ

2. 場所

名古屋市港区川間町1丁目238番地の2^楼ラント^{ビル} 則武1号室

3. 指定年月日

2015年12月1日

4. 指定機関

名古屋市

5. 対象者

- ・身体障害者
- ・知的障害者
- ・精神障害者
- ・難病等

6. 従事者

専従 5名(介護福祉士)
非専従 2名(ホームヘルプ二級)

7. 事業内容

- ・居宅介護
- ・重度訪問介護
- ・同行援護
- ・移動支援

8. 利用者状況

(1) 契約者

10名(男性6名・女性4名) 昨年比+1名

(2) 障害程度区分

区分6(6名) 区分5(1名) 区分4(1名) 区分なし(2名)

以上

利用状況

身体介護

月	訪問回数	訪問時間数	利用者数
H29.4	159	262	6
5	178	286	6
6	167	280	6
7	179	286.5	6
8	175	283.5	6
9	168	279	6
10	176	288	6
11	182	293	6
12	166	266.5	6
H30.1	173	290.5	6
2	169	275.5	6
3	184	287	6
年度計	2076	3377.5	72

重度訪問介護

月	訪問回数	訪問時間数	利用者数
H29.4	79	241.5	4
5	88	274	4
6	84	250.5	5
7	104	270	4
8	97	278	5
9	84	265	4
10	89	253.5	4
11	90	244.5	4
12	90	247	4
H30.1	90	234.5	4
2	83	230	4
3	91	260.5	5
年度計	1069	3049	51

移動支援

H29.4	2	2	1
5	5	12.5	3
6	3	3.5	2
7	4	4.5	2
8	6	13.5	3
9	5	5.5	2
10	3	10	3
11	6	12.5	3
12	6	13.5	3
H30.1	4	11	3
2	5	12.5	3
3	6	20.5	3
年度計	55	121.5	31

静岡地区

1.事業所名

訪問事業所サフィー

2.場所

静岡市清水区蒲原3丁目14-1 2階

3.指定年月日

2016年1月1日(事業開始4月1日)

4.指定機関

静岡市

5.対象者

- ・身体障害者
- ・知的障害者
- ・精神障害者
- ・難病等

6.従事者

専従 2名(看護師・ホームヘルプ2級)

非専従 2名(ホームヘルプ2級) H.30.3.31従業者0人

7.事業内容

- ・居宅介護
- ・重度訪問介護
- ・移動支援

8.利用者状況

(1)契約者

15名(男性11名・女性4名) H.30.3.31契約者0人

(2)障害程度区分

区分6(7名) 区分5(3名) 区分2(1名) 区分認定無し4名

平成29年12月より休止

利用状況

身体介護

月	訪問回数	訪問時間数	利用者数
H29.4	64	59	7
5	68	62	9
6	73	85	9
7	79	84	9
8	88	89	9
9	12	7.5	1
10	13	8.5	1
11	12	8	1
12	0	0	0
H30.1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	0	0
年度計	409	403	46

重度訪問介護

月	訪問回数	訪問時間数	利用者数
H29.4	10	22.5	2
5	10	25.5	2
6	14	26	2
7	14	24.5	2
8	20	34.5	2
9	12	20.5	2
10	9	18	2
11	8	18.5	2
12	0	0	0
H30.1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	0	0
年度計	97	190	16

移動支援

H29.4	7	16.5	4
5	4	10	2
6	3	7	2
7	4	9.5	3
8	3	7	2
9	3	6	1
10	3	6	1
11	3	6	1
12	0	0	0
H30.1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	0	0
年度計	30	0	16